

【決定したソーシャルイノベーター】 ※50音順

浅谷 治希（あさたに・はるき）

プロジェクト名	教員多忙化対策委員会
概要	教員の業務量過多により、教員が生徒と関わる時間は授業を除くと週2.7時間のみ。授業準備の時間も十分に取れていない。本プロジェクトでは、教員が本来の業務に専念できるよう、業務効率化を進める教員個人のノウハウを蓄積・共有し、教員の業務効率化を進める。
プロフィール	任意団体 教員多忙化対策委員会代表。1985年、神奈川県生まれ。慶應義塾大学経済学部出身。在学中に起業。Benesse Corporationに新卒入社。女性向けポータルサイトの集客業務に従事。2013年2月にLOUPE Inc.を設立。学校教育をドメインに事業を展開。世界経済フォーラム運営のGlobal Shapersに2015年選出。(http://lo-upe.com/)

安部 敏樹（あべ・としき）

プロジェクト名	ソーシャルセクター全体のR&D部門に
概要	科学技術領域の成果を各NPO等とマッチングする業界全体のR&D機能を構築。NPO等が抱える技術的な課題をヒアリングし、課題を可視化し、NPOと研究者の相互理解を高めるためのスタディツアー、研修等を実施する。
プロフィール	一般社団法人リディラバ代表理事。1987年、京都生まれ。東京大学在学中に「リディラバ」を立ち上げる。史上最年少の24歳で東京大学で授業を担当し、教員向けにも講義を持つ。現在も東京大学大学院博士課程に在籍中で、複雑系を専攻。2017年、Forbes誌が選ぶ「アジアを代表する30歳以下の社会起業家30人」に選出。(http://ridilover.jp)

岡 勇樹（おか・ゆうき）

プロジェクト名	デジリハ
概要	デジタル技術を活用した子ども向けリハビリテーションを日本、そして世界の病院に展開していく。病院などの閉鎖的な環境で過ごす子どもたちとキッズプログラミング教室に通うキッズプログラマーたちが協働で、大人の専門職の監修を得て開発する。
プロフィール	NPO法人Ubdobe代表理事。1981年、東京生まれ。法政大学経済学部経済学科、国立音楽院音楽療法学科卒業。2010年、NPO法人Ubdobeを設立。14年、厚生労働省介護人材確保地域戦略会議の有識者、16年、東京オリンピック・パラリンピック競技大会推進本部ユニバーサルデザイン2020関係省庁等連絡会議の構成員に選出。(http://ubdobe.jp/)

川口 良（かわぐち・りょう）

プロジェクト名	CONTINUUM
概要	コミュニケーションツールの革新や空間を擬似的につなぐ技術の開発によって、地方や家にながら遠隔チームと負荷なく働ける労働環境をつくり、過度な大都市化、長い通勤時間、衰える地方経済、働く母親などさまざまな社会問題の解決（働き方改革）を目指す。
プロフィール	WorkAnywhere代表。1983年、東京生まれ。東京大学中退、イリノイ州立大学卒。Google株式会社を経て独立。Googleマップの開発に携わる。代表を務めるストレイト合同会社では、コワーキングスペースとクリエイターのコミュニティの運営を通して、新時代のワークスタイルを追求する。

小松 洋介（こまつ・ようすけ）

プロジェクト名	Venture For Japan
概要	大学卒業後の進路として地方の中小企業への就職は選択肢に挙がりづらく、それにより都市と地方の人材の不均衡が拡大している。学生に一流のトレーニングを行い、2年間、地方の中小企業の経営ポストとして新卒時点で派遣するプログラムを実施する。
プロフィール	NPO法人アスヘノキボウ代表理事。1982年、宮城生まれ。東北学院大学文学部史学科卒。2005年、株式会社リクルートに入社。東日本大震災後に退職、女川町復興連絡協議会戦略室に入室。民間による復興提言書の作成サポート、創業・事業再建支援に携わる。13年より現職。国内外と女川をつなぐハブとして、まちづくり等に携わる。(https://www.asuenokibou.jp)

仁藤 夢乃（にとう・ゆめの）

プロジェクト名	夜間巡回バスによる青少年へのアウトリーチ
概要	家庭事情により、家に帰れず夜間に繁華街を徘徊する子どもが犯罪に巻き込まれる事件が後を絶たない。夜間巡回バスにより支援が必要な子どもたちへアウトリーチを実施することで、早期発見および問題の顕在化を図り、適切な支援・サポートを行う。
プロフィール	一般社団法人Colabo代表。1989年、東京生まれ。高校中退。自身の経験から、夜間巡回やシェルターでの保護、児童相談所や病院、警察等への同行、自助グループの運営等を通し、虐待や性暴力被害に遭うなどした青少年支援を行う。著書に『難民高校生』（ちくま文庫）、『女子高生の裏社会』（光文社新書）。(https://www.colabo-official.net/)

横山 太郎（よこやま・たろう）

プロジェクト名	これでいいのだ！ CO-MINKAN
概要	全国公民館が、十分に活用されていない現状に対し、医療従事者が中心となって、高齢者・女性・若者が集まるコミュニティの中心として公民館を変革する。まずは私設公民館を設置し、特に地域の高齢者・女性に対し、健康・子育て・育児に関する情報提供や支援を行うナビゲーターを育成する。
プロフィール	任意団体Indicocrea代表。神奈川生まれ。埼玉医科大学卒業。緩和医として診断時から関わる「早期からの緩和ケア」の臨床試験を行い、厚生労働省科学研究班でマニュアル作成に携わる。価値観が多様化する超高齢社会において、「非医療者も含めた様々な人が意思決定支援を行う体制」を作ることをミッションに活動中。(http://indicocrea.com/)